

サロンあべの

VOL. 146

介護保険制度とは：

サロン・あべの7月の出会い
98年7月18日(土)、育徳コ
ミュニティセンター2階研修室
において、サロン・あべの7月
の出会いを開催しました。

7月のパネラーは、長吉西地
域在宅サービスステーションの
石井順一氏でした。石井氏には、
貴重な休日を割いていただき、
今注目の、介護保険制度につい
て、お話しをしていただきました。

介護保険制度のねらい

介護保険制度創設による最大
の変化は、行政を主体とした措
置制度だった老人福祉施設への
入所などが、社会保険による契
約関係になることです。利用者
が主体となり、そこに権利性が

生まれます。同時に、社会保
障制度改革の第一歩として、介護
を医療保険から切り離す、とい
う目的もあります。

介護保険制度の概要

利用者は、まず介護保険に入
ります。そして、介護が必要に
なった時点で、その保険給付か
ら、介護サービスを利用します。
保険料と共に、利用者負担も必
要になりますが、介護費用の半
分は、税金で賄われます。

この制度は、平成12年度から
施行されます。40歳以上の加齢
疾病を対象として始まりですが、
平成17年には見直しをされるこ
とが既に決まっております。若年障
害者についても、それ以降、対
象となります。

具体的な内容については、新
聞発表などをよく読めば分かる
はずです。要は、自分自身の問
題としてかみしめること。より
良い制度にするためにも、きち
んと見て行く必要があります。

利用者の心得

この制度は、国民の自立を求
めています。これまでの行政主
導の受ける福祉から、国民が自
分で選び、買う福祉になるので
す。つまり、強い意思を持った、
賢い利用者になることが求めら
れるのです。

すべての国民が、介護保険制
度の詳細までを理解し、また、
介護サービスの提供者である施
設の善し悪しを判断した上で、
自分に必要な介護サービスを、
選択して利用するのが理想です。
しかし、現実には無理でしょう。
そこで、利用者に代わって介護
サービス計画を作成する、ケア
マネージャー(介護支援専門員)

の存在が重要になるのです。
良いケアマネージャーを選ぶ



石井順一氏

ことが、良い介護サービスの利
用に直結することになるのです。
これからの課題

財政的な問題も重要ですが、
制度そのものが練り上げられて
行く段階で、国民の意見が反映
されなければなりません。また、
介護サービスの提供者である施
設と、ケアマネージャーとの関
係についても、明確にしておく
なければなりません。もちろん、
介護サービスの質の向上も欠か
せない課題です。そのためにも、

市場競争の原理が生まれる状況
を、作らなければなりません。
いずれにしても、オンブズマ
ンによる監視体制が重要になる
でしょう。

最後に
これまでの、「してもらって
いる」という考え方を改め、介
護サービスの利用者（ユーザ）
として、強い立場になることを
理解しなければなりません。施
設や介護サービスを選ぶ権利は、
利用者にあるのです。その権利

を最大限に生かすこと。それが、
介護サービスそのものの、質を
高める力になるからです。
参加者 27名 (上平幸雄)

写真 山野莊一氏



お知らせ

サロン・あべの9月の出会い

日時 9月19日(土) 午後1時〜4時

場所 育徳コミュニティセンター 研修室

(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、車いすトイレ有り

テーマ 「癒し」について考える

精神的に疲れたときや、落ち込
んだとき、あなたは、どうやっ

て解消していますか？

ショッピング？やけ食い？やけ

酒？スポーツ？音楽？デート？

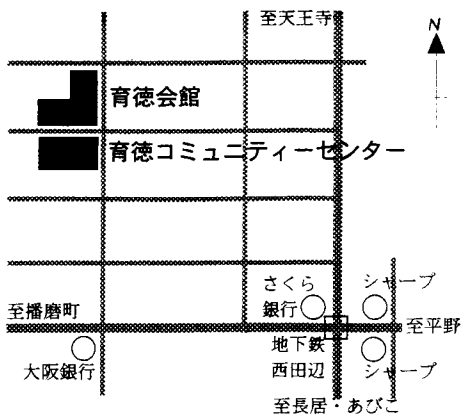
人が、癒される瞬間について、

みんなで考えてみませんか？

会費 なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎06(691)1028 (富田慶子)



介護保険って、ほんとよくわからないです

なぜ障害者は介護保険の対象にならなかつたか。それは、厚生省の老人保健福祉局がつくつたから、という本当かどうか知らないが、いかにもそれらしい話を聞いたことがある。

「保険ならば(措置と違って)サービス提供者が自由に使えるから」これは、介護保険導入の是非をめぐる討論会で、介護推進者の是非をめぐる討論会で、介護推進者として有名だった医者でもあ

る大学の先生が言われたことだが、何しろ保険の大先輩の医者が言うだけあってリアルティがあり、つまりこれが介護保険をすすめる理由なのかなと思ったりもした。

とにかく介護保険は、なぜ保険なのか、なぜ高齢者だけなのか、よくわからない。(本当はその理由はわかるけど、どうしてそんな中途半端な制度ができることが許されたのか)がわからない。

高齢者の介護が大きな問題なのはいまでもない。だからみんな介護対策の充実を願っているから、「介護保険に賛成」というアンケート結果となっているけれど、その人に介護保険について知っているか

ずねると、中身まで知っている人は実は少ないことばを使ってきた。ことばそのものに拘るわけではないが、高齢者と障害者の

仕事柄、介護保険への対応などを考える介護(介助)の考え方のなかにはやはりかなりの違いがあると感じる。これは決して不足を棚に上げるつもりはないが、それに

してもこれからどうなっていくのかよくわかっていない。もつと困ったことだと思っ

た。介護保険ができたことを心から喜んで

いる。介護(介助)よりも「介助」と

(は)

作る つくる 創る

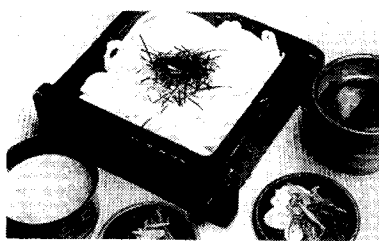
河合恵子

夏の麺類

蒸し暑いこの季節、酷暑を乗り切るのが定番の食べ物といえば激辛のカレシやエスニック料理、焼肉でしょうか。ところが、こともあろうに和歌山の夏祭り会場ではカレシにヒ素や青酸という毒物が混入。四人が亡くなられた。また新潟ではアジ化ナトリウムが飲物に入れられたという。一昨年は〇157が猛威をふるって驚きましたが今回は人為的に引き起こされた犯罪。全く許せないことです。

さて食欲が減退気味するときには見た目も涼しげで、喉越しの良い麺類がおススメ。冷し中華やそうめん、ざるそば、ざるうどんなど様々ありますが、夏場の東北地方ではわんこそばや細い

稲庭うどんをはじめ、うめん、冷しメン、冷しワンタンなど変わったメニューが人気とか。ぜひ一度、本場の味を味わってみたいもの。もともと香りを楽しむ蕎麦は、だしがポイント



のうどんと違って新そばのでる秋の終わりから冬にかけてが旬。うどんについては讃岐出身の友人によれば最もおいしいのは自分の家の手打ちうどん。冷たいうどんに生醤油をかけて食べる

といういたってシンプルなのが美味とか。しかし、暑い夏に自分でうどんを打つなんて・・・という向きにはこのようなBGMはいかが。その名もずばり「ザ・職人」というCD。このシリズには「そば打ち職人」「うどん打ち職人」というのがあって、そばやうどんをこねる、打つ、切るといった名人の仕事の音を自宅で味わうことができます。

温鈍屋の娘二八の売れざかり
これは文政八年(一八二五年)の浪華柳多留の一句。当時、二八蕎麦とともに、二八うどんという言葉もあって娘の年齢の十六才と掛け言葉になっているのですが、江戸時代の大坂、この商人の町でどのように人々が夏を過ごしていたのか知りたいものです。

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きした生活を送るために—

5

伊藤智佳子

資料はピア・カウンセリング開拓期と思われる1989年から1993年までのものである。1993年以降は、ピア・カウンセリング集中講座報告書類の発行がほとんどなされていない。したがって、1989年から1993年までについて整理する。今回は、①のピア・カウンセリング講座の実施状況について触れる。

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状】

1. ピア・カウンセリング講座の実施状況

わが国の自立生活センターで行われているピア・カウンセリングは、情報提供としてのピア・カウンセリングと心理面への援助としてのピア・カウンセリングがある。

筆者は、情報提供の側面よりも心理面への援助としてのピア・カウンセリングに重点を置き、論を進めたいと思う。ただし、ピア・カウンセリングは、研究・実践ともにまだ緒についたばかりといった感が強い。

というのは、現段階では、ピア・カウンセ

リングを受ける機会がピア・カウンセリング講座に参加することを通してのみに限定される場合が多いと思われるからである。そのため、ピア・カウンセリングを講座受講以外の形で受けている場合を整理することはできにくい。したがって、ピア・カウンセリング講座の実施状況からピア・カウンセリングの全国への広がりを把握する

(表1)。

障害をもつ人同士のピア・カウンセリングは、1988年にヒューマンケア協会が開催したピア・カウンセリング集中講座を機に全国に広がってきた。主催団体の組織力などの違いにより講座回数は異なるが、4年間で、全国各地に広がってきている。

集中講座は2泊から3泊の合宿形式で行われ、参加者は約10人から30人。長期講座は、隔週2回5ヵ月間計10回コース、週4回3ヵ月間計12回等のコースがあり、通い形式で行われる。講座が東京の2団体に集中しているのは、その他の地域では講座を進めていけるピア・カウンセラーが少ないという現状を表していると推察される。

1994年から1998年現在に至るま

前号(VOL. 145)では、わが国の自立生活センターの中でのピア・カウンセリングの位置づけについて若干の整理を行った。今回からは、わが国におけるピア・カウンセリングの現状について①ピア・カウンセリング講座の実施状況、②ピア・カウンセリング講座のプログラムの実際、③ピア・カウンセリングの技術の3点を中心に整理したい。

ただし、現時点で筆者が収集できている

表1 各団体の講座開催概要

主催団体名	集中講座	長期講座	開催時期
ヒューマンケア協会(八王子市)	5回	5回	1989～93
町田ヒューマンネットワーク	4		1990～93
札幌いちご会	4		1989～93
広島P・C実行委員会	3		1990～93
京都P・C実行委員会	1		1990
旭川P・C実行委員会	1		1991
AJU車いすセンター(名古屋市)	3		1991～93
長野ヒューマンネットワーク	3		1991～93
静岡障害者自立生活センター	2		1992～93
滋賀自立生活センター	1		1993
自立生活センター福島	1		1993

* 立岩真也「自立生活プログラム・ピア・カウンセリングの実施状況」ヒューマンケア協会編『自立生活への鍵—ピア・カウンセリングの研究—』、ヒューマンケア協会、1992年、56～66ページ。

全国自立生活センター協議会・ピア・カウンセリング小委員会他編『ピア・カウンセリングガイドライン&有効性』、全国自立生活センター協議会、1994年、29～30ページ。

では、JILや各地の自立生活センターの発展に伴い、ピア・カウンセリング講座も1994年以前より以上に早いペースで全国各地への広がりをみせている。各地に

ピア・カウンセリングが広がりつつある今日にあってピア・カウンセラーの養成は、ピア・カウンセリング講座開催当初から引き続きの課題のひとつといえよう。

朗読テープのご案内

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
 Aサロン・あべのV紙一四五号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

1. Aサロン・あべのV紙は、第一号より一四五号までそろっています。(五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本)
 2. Aサロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー!」(九〇分テープ二本+一二〇分テープに収録)
 3. 絵本「未知の記憶」(作・絵・中川勝彦)
 4. 「ラジオたんぱ」放送『Aサロン・あべのV平成七年五月の出会い』放送分(三〇分)
 5. エッセー集「逃げたクヨナクボラ」
 Nティア活動の周辺く(岡本栄一著・表谷恵美子音訳)
- いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。(806-6911-028)

★情報という荷物

いつまでたっても部屋が片付かない。夏休みに入って少し時間に余裕ができたから片付けようと思っているのに、やっばりできないでいる。どうしてだろうと無力感を感じながら、積み上げられた紙の束(たば)を前にして考えてみた。

まず気づいたことは、これは紙の束ではなく、文字が書かれた書類の混沌であるということだ。ただの紙の束であれば紙の大きさや色で分けることができる。しかし、紙には多くの文字が書かれている。それを読みとったうえで捨てるか、捨てないか、捨てないとすればどこに保管すれば良いかを考えなければならぬ。

足元にある、ひとつの紙の束を拾ってみる。一番うえには授業のアイデアのメモがある。その次が研究のためのメモ。その下にはクレジットカードの利用明細書。そして福祉団体の会誌、

新聞の切り抜き、注文した本の請求書、出版社からの原稿締め切りの通知、返事を書かなければいけない暑中見舞いのハガキ、住所録に記入しないとけない名刺、新しく作つたためがねの引換書、N T Tの請求書、学生の採点表、図書館の開館時間表、出張先のホテル



の案内、先日の会議の資料、患者団体の行政への要望書のコピー、福祉団体の会費請求書、と果てしなく続く。内容は全くのバラバラで、しかも、いちいち内容を読んで処理しないとい

けないので時間がかかる。保険会社からの郵便物などは、大切な通知なのか、それとも新しい商品の広告なのか、すぐにはわからないので、やはりじっくりと読むしかない。そうするうちに、すっかり疲れてしまい、面倒になって、また紙の束にして部屋の真中に投げだしてしまう。すると、ほとんどゴミの山と変わらない。

情報化時代とは、こういうことではないか。とにかく、モノではなく、モノに乗った情報の整理に追われる。

私の部屋のなかで一番、場所を取っているのは本だ。しかし、それはそこに書かれてある言葉を読まない人にとっては紙の束にすぎない。あとはCDやフロッピーがあるが、これはプラスチックの材料に音楽やソフトウェアの信号が乗ったもので、CDステレオやパソコンを持たない人には燃えないゴミでしかない。

江戸時代のたいていの日本人は情報の処理に困るといふ経験は少なかっただろう。家のなかには衣類や寝具、食器や農機具など、そのもの自体を使うものが大半で、その整理に困るといふことはなかったのではないか。

毎日のように届く分厚い新聞に、そこにどっさり挟まれた広告の束。テレビの番組も基本的には情報の塊（かたまり）だ。現代の日本人々は程度の差はあつても、たいてい私のように情報の過剰に悩んでいるにちがいない。情報の過剰には情報の選択が大切だと繰り返し言われているが、その選択には時間と労力がかかる。一枚の紙が必要か必要ではないか、それを判断するには、それを読み、理解し、保存する場所を作らなければならない。

いや、もう、そんなことはごめんだ、いつさいの情報は要らないという人も出てくるだろう。しかし情報を知らなければ損をする。金融ビックバンの時代がまさにそうであるし、福祉の世界でもサービズに関する情報を知ってい

ると知らないのでは生活に大きな差が出てくる。
結局は情報を処理しきれず、かといつて情報に耳をとぎす勇気もないままに、私のように紙の束を前にして無力

感に沈む人はますます増えていくだろう。しかも、この情報量はこれからも増えていく一方であることは間違いない。いやはや、いつたいどうすればいいのだろう。
(知)

美智子のこんな話

岸田美智子

大阪施設入所者交流会へのご案内

毎日暑い日が続いていますが、お元気で
お過ごしでしょうか？

私たちライフ・ネットワークは、施設入
所者の外出応援を主に活動してきました。

その中で、施設入所者から他の施設入所者と交流したい、という声が出てきました。そこで、「千里みおつくしの杜入居者自治会」といっしょに左記のような交流会を開催します。

会場は、園長のご好意により千里みおつくしの杜を提供していただけることになりました。今回の交流会ではライフ・ネットワークの枠に限定しないで、多くの施設の皆様に参加していただこうと思っております。この機会に他の施設入所者の友達を作ってみてはいかがでしょうか？

記

日時 平成10年8月30日(日) 13時～16時
場所 千里みおつくしの杜(吹田市)

内容 千里みおつくしの杜施設の見学と交
流会(各施設で行っているクラブ活

動や独自の取り組みなどを発表しあ
います)

呼掛人IIライフ・ネットワーク

千里みおつくしの杜人居者自治会

連絡先IIライフ・ネットワーク

〒558-0001

大阪市住吉区大領5-10-16

TEL 06-607-8260

FAX 06-607-5503

感謝

カンバ、切手、お茶、葉書、お茶菓子、
テレホンカード、バザー用品等のご寄贈、
またサロングッズのお買い上げ、ありがと
うございました。お礼申し上げます。

赤松菊間、有野千代乃、石田 花子、
伊勢村和子、上平幸雄、大高澄子、
岡 賀寿子、奥田真祐美、加賀谷 正、
蔵田 均、神城昭子、阪口悦子、
杉原光子、杉山篤枝、砂脇たけ子、
善甫道子、大丸久美子、竹村定子、
田村昌子、辻本輝子、照井邦子、
富田慶子、中岡久美子、仲田孝史、
中村宜子、永野まさよ、南光仁子・龍平、
西 和子 久木 浩、藤井さゆり、
町野旬子、松田峰子、松村育子、
丸山寿美子、水戸ハル子、柳生幸子、
山根匡子、吉原和郎、その他の方々。

まきみみずさん

就職をめざして

私は、今年四月から堺市は、
城山台にある大阪障害者能力開
発校に行っています。

ここには、八つの科(情報処
理、第一メカトロ、第二メカト
ロ、OABビジネス、アパレル、
POPデザイン、製版アート、
作業実務など)があり、就職を
めざして一年間学びます。

私が通っているのは、アパレ
ル科で、動力ミシン、特殊ミシ
ンによる各種部分縫いを通して、
婦人服や子供服などの縫製仕上
げ技術を学んでいます。

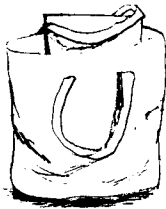
私が、初めて耳にしたアパレ
ルCADパターンメイキング、
グレディングなど、新しい体験

をしながら学んでいます。

アパレル科といってもミシン
だけではなく、ワープロの授業
や、洋服のデザインの授業など
もやっています。

これから来年の三月まで、就
職できるよういろいろなことに
チャレンジしながら、頑張って
行きたいと思います。

堀田 ゆかり



ドイツからのお便り

St. Andreasberg, June 27 1998

Dear Keiko,

thank you very much for your last letter and your photo with kangaroo from Australia.

I think, Australia is a very exciting continent, but it's so far away from Germany, that Germans usually are looking for other destinations for their holidays, because the flight is very expensive. But Australia is also one of my dreams, perhaps it will become reality later in my life.

In this year my boyfriend and myself have flown to LANZAROTE five weeks ago. LANZAROTE is a little island in the Atlantic Ocean near the west coast of Africa, which is resulting from volcanos. (I send you a postcard of the island.) There are only a very few vegetation, so that a great part of the island looks like a black desert. Because there is a very dry weather, many tourists visit LANZAROTE, especially German and English people. We have a very relaxing time, but since two weeks I am at work again, so that the relaxing effect will fly away soon.

In Germany, handicapped people have special rights at work, for instance they have more holidays in the year than other working people and they have a better protection from losing their jobs. Besides there are special journeys for handicapped people in Germany, too. At home there are many different offers from the community to get help for living alone. Fortunately at the moment I myself don't need such special offers any more, because I can manage my life alone yet. The politicians try to reduce the money for helping handicapped people in the last years. Is there the same process in Japan?

In spite of here is summer the weather is cold like in autumn. But I hope it will become better.

I hope, you feel well and have a happy time til I will hear from you next time.

With best wishes

Brigitte

富田慶子様

お手紙とオーストラリアからカンガルーと一緒にの写真をありがとうございました。

オーストラリアはとてもエクサイティング(刺激的)な大陸です。だけどドイツからは大変遠いなあと思います。ドイツ人が休暇を過ごすために(オーストラリアのような遠くでなく)いつも違ったところを探すのは飛行機代がとても高くつくからなのです。けれどオーストラリアはまた、私の夢のひとつでもあるのです。でも、私は生きている間にきつと夢を実現させるつもりです。

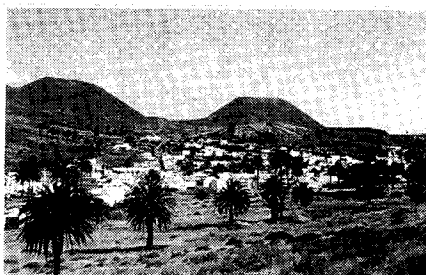
今年はボーイフレンドと私は5週間前にランザローテに飛びました。ランザローテはアフリカ西海岸近くの大西洋に浮かぶ小さな島です。そこは火山が噴火してできた島です。(島の絵ハガキを送ります。)

草木がほんの少ししかありません。そのため島全体が黒い砂漠のようです。なぜならそれは大変乾燥した気候のためです。

多くの旅行者がランザローテを訪れますが、特にドイツとイギリスの人が多いです。私たちはとてもリラックスしたときをもつことができました。しかし、2週間後には再び仕事に戻り、リラックスした効果はどこかへ飛んでいってしまいました。

ドイツの障害者は働くのに特別の権利を持っています。たとえば健常者よりも多い休日を持ち、失業に際してもより良い手当がなされます。その上ドイツ内での特別の旅行もあります。家庭においてはひとりで住むに際してもそれぞれの自治体からいろいろな形の援助があります。幸いにも、私自身は今これ以上どのような形の特別の援助も必要とじていません。なぜならまだ私はひとりでもなんとかやってゆけますから。去年、政府は障害者に対する援助のお金を減らそうと試みましたが。同じような過程が日本にもありますか。夏にもかかわらずこちらの気候は秋のように寒いですが。でも私はやがて夏らしくなるだろうと信じています。

あなたがお元気でお幸せでありますように。お便りお待ちしております。ブリギッテ



ISLA DE LANZAROTE



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」9月の出会い

日時 ; 平成10年9月20日(日)
午後1:30~午後4:00

場所 ; 「やすらぎ」
[大阪市淀川区三国本町2-14-3]

内容 ; 「住まいを安全に」(住いのリアル) - 高齢化を迎えるための快適な
住まい創りとは -

パネラー ; 三浦久子氏
高齢者に配慮した製品開発
エイズライフデザイン研究所代表
高齢者サービスセンター

会費 ; なし
問い合わせ先 ; 淀川区社協 ボランティア・ビューロー
TEL06-394-2900

■「ウイズ東淀川」9月の出会い

日時 ; 平成10年9月13日(日)
午後1時30分~4時

場所 ; 大阪市立東淀川区民会館
[大阪市東淀川区東淡路1-4-53
TEL06-379-0700]

内容 ; 「いろいろなイベントを通じ、
障害者と健常者の理解を深め
るため…」

パネラー ; 工藤正登氏
(走ろう歌おう大運動会代表)

会費 ; なし
問い合わせ先 ; 鈴木 昭二
TEL・FAX06-340-3082

■「サロンいたみ」9月の出会い

日時 ; 平成10年9月27日(土)
午後2時~3時30分

場所 ; 伸幸苑(伊丹市寺本6-150)

内容 ; 大正琴コンサート

会費 ; なし

お問い合わせ先 ; TEL0727-79-4078
(19時以後に、西原まで)

■9月例会「出会いボランティアサロン」

日時 ; 平成10年9月28日(月)
午後7時30分~

内容 ; 「閉じこもり・引きこもり
について考える」

パネラー ; 宮田直孝氏
(京都・友達をつくる会主宰者)

会場 ; 岸和田市立福祉総合センター

参加費 ; 無料(どなたでも気軽にお越し下さい)

お問い合わせ先 ; (観のみ) TEL0724-22-0686(阪)



奥田真祐美
シャンソン教室発表会

日時 = 9月12日(土)
開場13時、開演13時30分

会場 = クスノキホール(驛バドーム)
[大阪市阿倍野区阪南町2-
22-15 TEL06-623-7512]

☆入場無料

お問い合わせ先 ;
TEL・FAX06-692-8774
(奥田真祐美音楽事務所)

〈サロン・あべの〉からの
お 願 い

いつも「サロン・あべの」紙
を読んでいただき、ありがとう
ございます。みなさまのおかげ

で、〈サロン・あべの〉の活動
も13年目を迎えることができま
した。しかし、世の中には、平
成の大不況が吹き荒れています。
こんな小さなボランティア団体
にさえも、その影響が現れて来
ています。

〈サロン・あべの〉の運営費
用は、ここ数年、約60万円です。
しかし、それを賄う収入が減っ
て来ているのです。

〈サロン・あべの〉の運営費
用は、「サロン・あべの」紙の
印刷代と送料が、そのほとんど
を占めています。一方、収入は、
みなさまからの寄附金とバザー
の売り上げが中心です。しかし、
バザーの商品も、みなさまから
寄贈していただいておりますの

で、結局は、収入のほとんどを、
みなさまのご厚意に頼っている
のが現状です。

しかし、昨年度の決算が赤字
になってしまったことから、
今年度は、例年にも増して、み
なさまからのご厚意に頼らざる
を得ない状況になっています。

〈サロン・あべの〉は、その
発足以来、年会費や定期購読料
といったものを頂かずに運営を
して来ましたが、それは、〈サロ
ン・あべの〉が、いつでも、誰
でもが、自由に参加できるよう
にと考えたからです。また、こ

れからも、この自由参加の原則
を守って行きたいと思っていま
す。そのためにも、本当に心苦
しいのですが、みなさまからの
ご寄附を、お願いしたいのです。
強制できるものではありません。
もちろん、金額も自由です。

ひとりでも、ふたりでも、同封
の「払込書」で、送金をしてい
ただければ、幸いです。

同時に、毎月、送らせていた
だいております「サロン・あべ
の」紙についても、お願いがあ
ります。

支出のほとんどを占めている
「サロン・あべの」紙の印刷代
と送料ですが、これを抑えるた
めに、送付先の検討をしなければ
なりません。

「毎月、送ってもらっている
が、ほとんど読んでいない。」
「もう興味がない。」と思われ
ている方、お手数ですが、ご連
絡をお願いします。送付を中止
させていただきます。
以上、よろしくお願いいたし
ます。

編集人；サロン・あべの運営委員会・〈サロン・あべの〉Vol.146[98. 8.15.発行] 定価¥1000.

代表；上平幸雄〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941

印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDEビル2F ☎06-719-8212 ☎06-719-8213